

曙杉



東神吉っ子

「すすんで考える子」

「こころ豊かな子」

「強くたくましい子」

第8号

令和5年11月30日

加古川市立東神吉小学校

二十四節季の小雪を過ぎ、季節は足早に冬へと向かっている感がある今日この頃です。そんな中、早いもので今年も残すところ後1か月となりました。今年一年を締めくくるまとめを各学年ともにしっかりとやっていきたいと思えます。

さて、先日11月23日には、本校の創立120周年記念式典と記念行事が行われました。当日は小春日和の穏やかな一日で、全校生、実行委員の保護者の皆様、来賓の皆様とともにお祝いしました。式辞でも述べましたが、本校はピーク時には1,500人を超える児童数があり、40年前に東神吉南小学校と分離しました。現在は全校生160人の加古川市でも小規模校の一つとなりましたが、全校生が一堂に会してお祝いできたことは大変喜ばしいことでした。今後もその良さを生かしつつ、地域とともにある学校であり続けたいことを願っています。

式典後の記念行事では、最初に加古川西高等学校吹奏楽部の楽しく、そして迫力ある演奏を聴かせていただきました。部員53人による演奏は、時にポップ楽しくで、時には、「ずしん」と体に響く迫力ある素晴らしい演奏ばかりでした。次に外部講師による全校生、教職員、保護者も交えた楽しい「遊び」で盛り上がりました。短い時間でしたが、1年生から6年生までが一緒になって楽しい時間を過ごすことができました。最後は、学校にやってきたキッチンカーで作ってもらったおいしいうどんをごちそうになりました。普段、家族で食べる機会はあるかもしれませんが、学校の教室でクラスみんなで食べる温かいうどんはまた格別でした。皆さんの協力もあり、無事に創立120周年を祝う会を終えられることができました。協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

さて、いよいよ明日から12月です。世間では、まだまだインフルエンザの流行が続いている中ではありますが、感染症には十分気をつけながら、引き続き手洗い・うがい等をしっかりとしながら楽しい冬休みが向けられるよう皆で元気に学校生活を送ってもらえればと思っています。



西高生が迫力ある演奏披露



ゲームで大盛り上がり！



打ち立てうどんが完成



教室にて「いただきます」

サツマイモの収穫をしました(2年生)

1学期に植えたサツマイモを、2年生が生活科の時間に掘りました。生い茂った葉っぱやつるを取り除き、一人一つの株を担当し、スコップで丁寧に掘り起こしていきました。立派に育ったサツマイモは子どもたちの顔くらいの大きさのものもありました。皆思い思いに掘り起こしては、自慢げに写真に収まってく姿が微笑ましかったです。兵庫大学の実習生4人にもお手伝いしてもらい、たくさんの芋が収穫できました。

この後は生活科の時間に調理して、みんなで美味しくいただく予定です。短い時間でしたが、収穫の秋を体験することができました。



丁寧に掘っていきます



顔より大きなお芋も…

赤ちゃん先生がやってきた(3年生)

27日の3校時に、3年生の授業に「赤ちゃん先生」がやってきました。この授業では、実際にお母さんと赤ちゃんがやってきて、生まれる前の様子や生まれた後の様子を伝えてくれる授業です。当日は4組のお母さん、赤ちゃんペアが多目的教室に来てくれました。0歳7か月から10か月の赤ちゃんでしたが、しっかりと座り、中には立ち上がったりの赤ちゃんもいました。4グループに分かれて、お母さんにお話を聞かせてもらったり、赤ちゃんを抱っこさせてもらったりして、子どもたちの顔も自然と笑顔になっていきました。赤ちゃんも終始ご機嫌で、ニコニコ顔が印象的でした。授業後の感想では、自分の赤ちゃんの頃を思い出して発言する児童もおり、学びの多い1時間となりました。ありがとうございました。



赤ちゃん、かわいいね



みんなで記念撮影

※裏面に12月の行事予定を掲載しています。